



日

本

感

情

研

究

の

クロスポイント

感

心

理

学

会



第33回大会プログラム

会場□□□ライトキューブ宇都宮

×

日程□□□ R7.10.25(Sat)・26(Sun)

ご挨拶

この度、日本感情心理学会第 33 回大会を開催する運びとなりました。歴史ある本学会の大会を開催できることを、心より嬉しく思います。

本年度の大会テーマは「感情研究のクロスポイント ― 多元的アプローチが拓く新展開」です。このテーマのもと、感情研究に関わるいくつかの「交点」を軸に、参加者の皆さまと議論を深めていきたいと考えています。

一つ目は、研究領域の交点です。感情に関わる研究領域は、心理学にとどまらず、神経科学、情報学、工学、哲学、社会学など多岐にわたり、それぞれの分野で豊かな知見が積み重ねられてきました。いま求められているのは、こうした多様な視点を持ち寄り、学際的・越境的な対話を通じて、感情の本質や働きをより深く理解することだと考えます。そこで本大会では、神経科学やロボット工学など、心理学以外の多様な領域で感情を研究されている先生方にご登壇いただき、研究領域の交点に焦点を当てたシンポジウムを開催いたします。

二つ目は、実社会との交点です。感情は、学問領域を超えて、私たちの実生活と深く結びついています。実社会におけるさまざまな社会的課題の根底には、感情の働きが関わっていることが多くあります。そこで今回は、法律や労働といった社会生活の視点から、感情と実社会との交点を探るシンポジウムを開催します。これにより、実社会における感情の機能や意義について、多角的な議論を深めたいと考えています。

三つ目は、世代間の交点です。本学会からは、これまで多くの若手研究者が巣立っていきました。私自身もその一人として、本学会において多くの貴重な経験をさせていただき、成長させていただいたと感じています。そこで本大会では、学会で活発に研究を進める若手研究者によるフラッシュトーク形式の特別企画を開催します。これにより、次世代を担う若手研究者の新たな視点や着想を共有し、本大会が世代を超えた活発な交流の場となることを目指します。

最後に、本大会は学会との緊密な連携のもと、栃木県宇都宮市にて開催いたします。会場は宇都宮駅から徒歩 2 分と交通の便に優れ、観光地や郷土料理の名店へのアクセスも良好です。また懇親会では、宇都宮の特産品を多数ご用意し、参加者の皆さまに宇都宮の魅力を味わっていただくとともに、交流をより深めていただけるよう工夫を凝らしております。

皆さまのご参加を、心よりお待ちしております。

日本感情心理学会第 33 回大会
大会実行委員会 委員長
木村 健太（法政大学）

大会行事・大会スケジュール

1. 大会行事

会員による研究発表（口頭・ポスター）、総会、シンポジウム、次世代フロンティア・セッション、ECR 会企画、各種委員会、懇親会があります。

なお、常任理事会および理事会は、大会前日（10 月 24 日（金））の 17:30～19:00 に、4 階小会議室 401 で行われます。関係者各位はご参集ください。

2. 大会スケジュール

	大会1日目 10月25日（土）	大会2日目 10月26日（日）
9:00		受付開始
9:30	受付開始	9:30-10:30 ポスター発表2 大会議室201
10:00	10:00-11:00 ポスター発表1 大会議室201	
10:30		
11:00		10:45-12:00 口頭発表3 大会議室202
11:30	11:15-12:45 口頭発表1 大会議室202	
12:00		12:00-13:00 休憩
12:30		
13:00	13:00-13:50 感情心理学研究・ES 編集委員会 小会議室401・控室201	13:00-14:30 シンポジウム2 感情研究における諸領域との クロスポイント 大会議室202
13:30	13:00-13:50 ECR会 小会議室403	
14:00	14:00-15:30 シンポジウム1 感情研究をめぐる実社会との クロスポイント 大会議室202	
14:30		14:45-16:15 口頭発表4 大会議室202
15:00		
15:30	15:40-16:25 口頭発表2 大会議室202	
16:00		
16:30	16:30-17:30 次世代フロンティア・ セッション 大会議室202	
17:00		
17:30	17:40-18:30 総会 大会議室202	
18:00		
18:30		
19:00	18:40-20:40 懇親会 大会議室 201	
19:30		
20:00		
20:30		

大会会場(ライトキューブ宇都宮)へのアクセス

1. 新幹線・飛行機・車でのアクセス

会場の最寄り駅はＪＲ「宇都宮」駅です。新幹線・飛行機・車でお越しいただけます。



◆ 新幹線

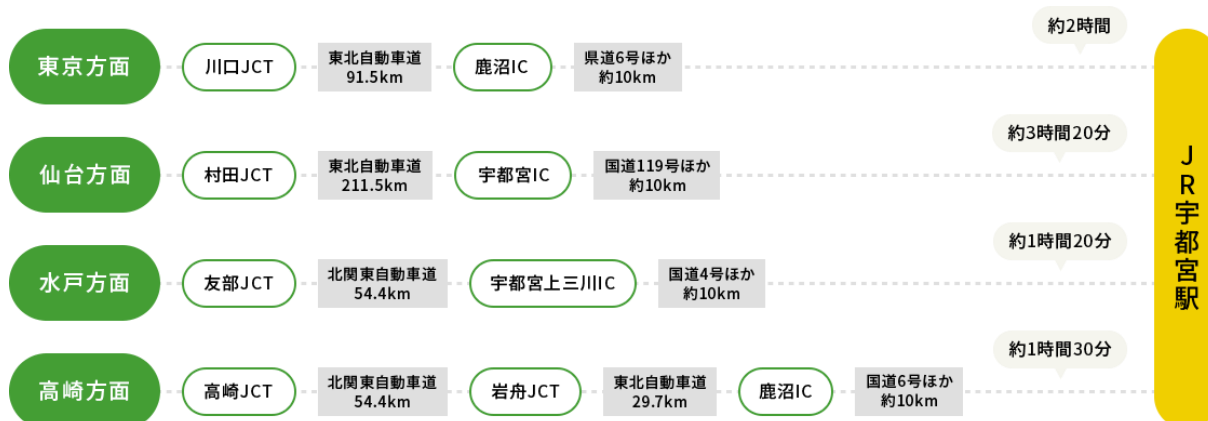
東京駅	東北新幹線	48分
仙台駅	東北新幹線	1時間5分
福島駅	東北新幹線	41分
新潟駅	東北新幹線&上越新幹線	1時間45分
金沢駅	東北新幹線&北陸新幹線	2時間37分
名古屋駅	東北新幹線&東海道新幹線	2時間34分
京都駅	東北新幹線&東海道新幹線	3時間9分
新大阪駅	東北新幹線&東海道新幹線	3時間23分

J R 宇都宮駅

◆ 飛行機



◆ 車 ※会場に駐車場はありません。近隣の駐車場をご利用ください。



2. JR「宇都宮」駅から会場への行き方

駅の改札口から徒歩2分でお越しいただけます。

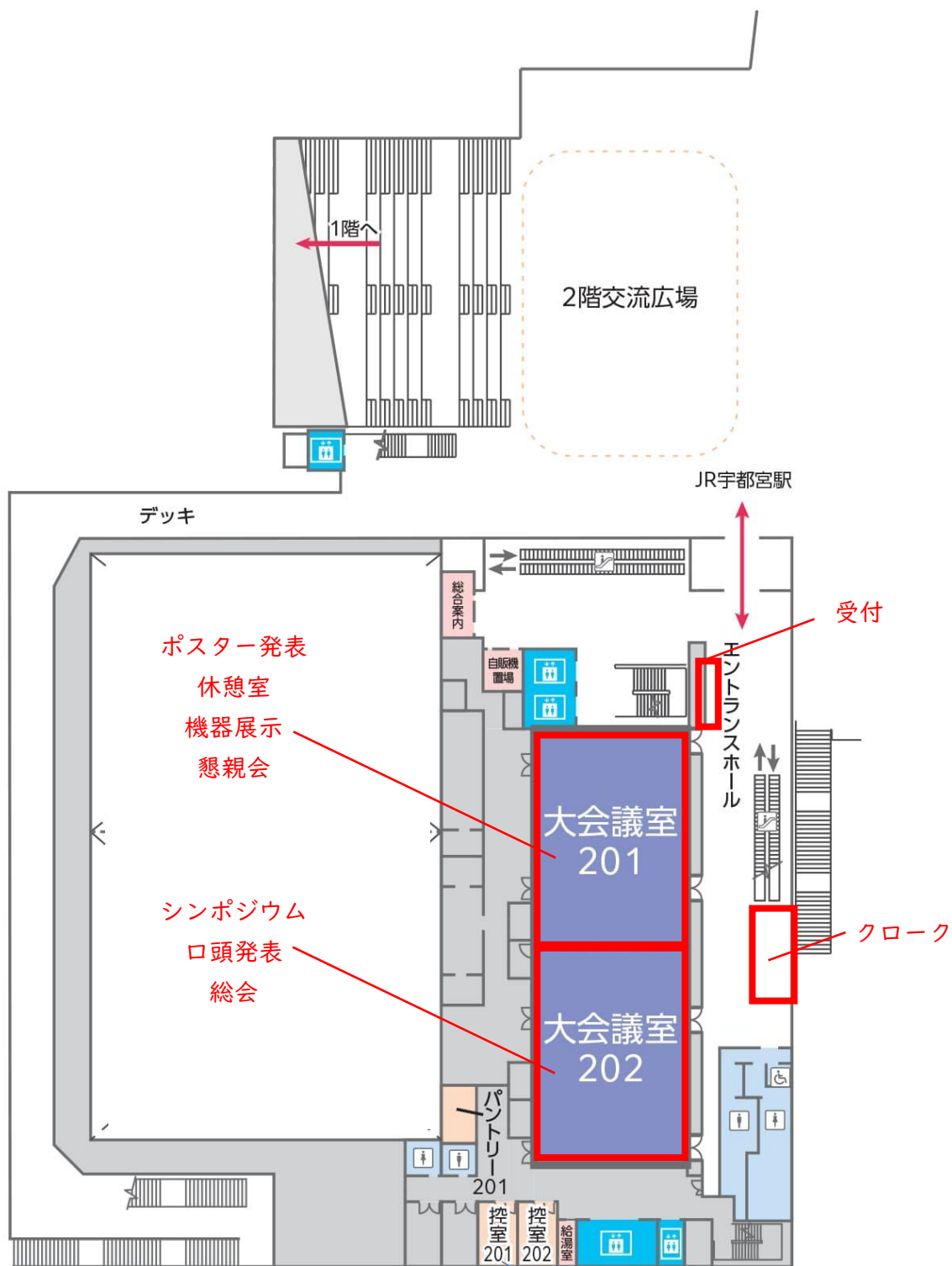
JR宇都宮駅

宇都宮駅東口交流拠点施設



会場案内図(フロアマップ)

●会場 (2F 大会議室 201、202)



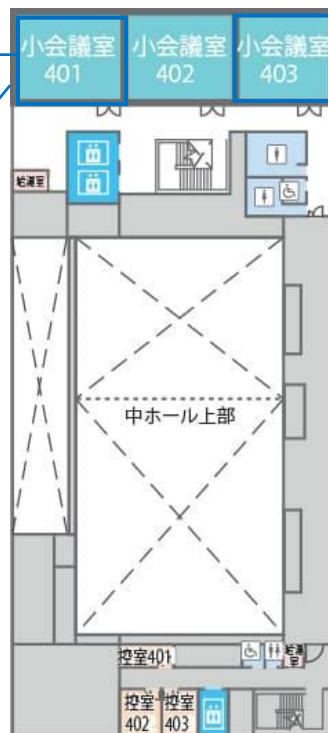
エモーション・スタディーズ
編集委員会(10/25)

●会場（4F 401、403）

感情心理学研究編集委員会
(10/25)

常任理事会・理事会
(10/24 17:30～)

ECR 会 (10/25)



※ 1F と 2F に自動販売機がございます。

※ 会議室内では飲食可能ですが、ゴミ等はお持ち帰りください。

大会参加者へのご案内

1. 大会受付

(1) 場所・日時

場所：ライトキューブ宇都宮 エントランスホール周辺

日時：10月25日（土）9：30～18：30（総会終了後まで）

10月26日（日）9：00～16：15

(2) 受付手続き

【大会の受付】

1) 予約参加の方

- ・ 受付にて名札（参加証）、ネームホルダー、プログラム冊子をお渡しいたします。
- ・ 大会当日の会員区分が申込時と異なり参加費に不足がある場合は、受付にて現金徴収させていただきます。
- ・ 非会員の「大学院生」または「学部生」の方は、受付で学生証をご提示下さい。在籍確認ができない場合は「一般」との差額を現金徴収させていただきます。

2) 当日参加の方

- ・ 原則 JPASS から当日参加の手続きを行ってください（受付にて手続きフローをお示しします）。受付にて登録を確認した後、名札と領収書、ネームホルダー、プログラム冊子をお渡しいたします。
- ・ 非会員の「大学院生」または「学部生」の方は受付で学生証をご提示ください。

会員区分	会員			非会員		
	一般	大学院生	学生会員	一般	大学院生	学部生
当日参加	9,000 円	7,000 円	1,000 円	11,000 円	8,000 円	1,000 円

3) 名誉会員の方

- ・ 受付にてお申し出ください。参加費が免除されます（日本感情心理学会細則第8条）。

【懇親会の受付】

- ・ 当日申込の方は、受付にて手続きを行い、以下の懇親会費をお支払いください。
- ・ 会場は大会議室 201 です。

会員区分	会員・非会員	
	一般	大学院生・学部生
当日参加	7,000 円	6,000 円

2. クローク（エントランスホール周辺）

開設時間は以下の通りです。貴重品の管理はご自身でお願いいたします。

10月25日（土） 9:30～18:30（総会終了まで）

10月26日（日） 9:00～16:30

3. ご案内

（1）総会（大会議室 202）

大会1日目の17:40～18:30に行われます。会員の皆様はご参加ください。

（2）各種委員会

- ・ 常任理事会および理事会は、大会前日（10月24日（金））の17:30～19:00に、4階小会議室401で行われます。
- ・ 感情心理学研究編集委員会（場所：4階 小会議室401）およびエモーション・スタディーズ編集委員会（場所：2階 控室201）は、大会1日目の13:00～13:50に行われます。

（3）機器展示（大会議室 201）

企業による展示がポスター発表会場にて行われます。是非お立ち寄りください。

（4）休憩室（大会議室 201）

自由にご利用ください。

（5）構内について

- ・ Wifiのパスワードは、SSID：LCU-FREE、PASS：Lightcube924です。受付にも掲示しております。
- ・ 構内は全面禁煙です。喫煙所はありませんので、ご了承ください。
- ・ 記録用のため、会場の様子を撮影することがあります。ご了承ください。

（6）ご協力をお願い

- ・ 本大会は、一般社団法人宇都宮観光コンベンション協会の協力を得て開催します。補助金の交付申請を行うため、参加者名簿（氏名、所属先とその所在地、宿泊日数等）を提出する必要があります。情報のご提出にご理解およびご協力くださいますようお願いいたします。右のQRコードからご回答ください。
- ・ 宇都宮観光コンベンション協会よりアンケートへのご協力をお願いがございます。右のQRコードからご回答ください。



研究発表者へのご案内

1. 発表方法について

(1) ポスター発表

- ・ セッションは 60 分です。発表要件は「セッション時間内のポスター掲示」と「掲示場所での責任在席時間内（30 分）の個別討論」です。
- ・ ポスターは展示パネルにテープで貼付いただきます。展示パネルの大きさはヨコ 120cm×タテ 180cmです。テープは会場にご用意いたします。会場でのポスターの印刷は致しかねますのでご了承ください。
- ・ 大会実行委員会ではポスターの処分は承っておりません。ポスターは必ずお持ち帰りください。
- ・ ポスターの掲示は、25 日は懇親会終了まで可能です。懇親会後に残っているものは大会側で撤去させていただきます。26 日は大会終了まで掲示可能です。ただし、大会終了後に掲示されているものは大会側で撤去させていただきます。

【責任在席時間】

- ・ 発表番号が奇数の方は前半 30 分間、偶数の方は後半 30 分間です。

(2) 口頭発表

- ・ 会場にノート PC (OS: Windows11) を 1 台ご用意致します。使用可能なソフトウェアは PowerPoint (Microsoft Office 365) のみです。インターネットへの接続も可能です。また、発表者が持参したノート PC も使用可能です。VGA と HDMI にて接続できます。いずれの PC でも、セッション開始前に各自で動作確認を行ってください。
- ・ 口頭発表 1 題の持ち時間は、**質疑応答を含めて 15 分間**です。経過時間に合わせて、卓上ベルを鳴らして合図いたします。
 - 1 鈴：10 分経過
 - 2 鈴：12 分経過（発表終了の目安）
 - 3 鈴：15 分経過（質疑応答を含む発表終了）

2. 発表抄録について

抄録を以下の期日までにご提出いただくことが、発表を公式に記録する要件となります。提出期限および詳細は以下の通りです。

大会発表賞の選考対象となることを「希望する」 → 2025 年 10 月 1 日（水）24 時

大会発表賞の選考対象となることを「希望しない」 → 2025 年 11 月 9 日（日）24 時

抄録様式：大会ホームページからダウンロードしてご使用ください。

提出先：こちらのフォーム (<https://forms.gle/ZZHDymbEuWnBq6Yp7>) から提出してください。

3. 大会発表賞について

感情心理学会では例年、大会発表賞を設けています。各賞の詳細は以下になります（以下の鍵括弧内の文章は大会発表賞選考規程からの抜粋です）。ここでの第一著者とは、責任発表者（単独発表者または複数人での共同発表において主たる発表を担う筆頭発表者）を指します。

(1) 優秀発表賞

「当該年度の年次大会における研究発表中、学術的・社会的・教育的意義などの観点から特に優秀と評価される研究発表である。」

(2) 若手優秀発表賞

「当該年度の年次大会における若手が第一著者の研究発表中、学術的・社会的意義や将来性などの観点から特に優秀と評価される研究発表である。ここで、若手とは当該年度の年次大会の開催年度末日（3月31日）における年齢が30歳以下の者とする。」

※ 若手の方は優秀発表賞と若手優秀発表賞の両賞の選考対象になることができます。

【エントリー方法】

優秀発表賞、若手優秀発表賞の選考対象となるには、2025年10月1日（水）24時までに以下の両方の手続きが必要です。

1. 発表抄録の提出

大会ホームページの「1. 発表抄録について」を参考にこちらの大会発表賞用の抄録提出用フォーム（リンク先：<https://forms.gle/VmuJ7iZaqzJBhfds7>）から、発表抄録を提出してください。

※通常の抄録を提出するフォームとは異なりますので、ご注意ください。

※提出締切は2025年11月9日（日）となっていますが、大会発表賞候補希望者は2025年10月1日（水）24時までに提出する必要があります。

2. 大会発表賞エントリーフォームへの登録

以下の大会発表賞エントリーフォームに氏名、メールアドレス等を記入して送信してください。

大会発表賞エントリーフォーム URL：<https://forms.gle/7npMu49iDfvFzjb5A>

※大会発表賞候補希望者は2025年10月1日（水）24時までに上記の大会発表賞エントリーフォームよりご登録ください。

【選考プロセス】

優秀発表賞、若手優秀発表賞の選考は、

1. 抄録のみを審査する1次選考

2. 大会当日の発表を審査する2次選考 からなります。

1次選考を通過した研究発表のみが2次選考の対象となります。

優秀発表賞と若手優秀発表賞へエントリーいただいた責任発表者の方が「1次選考」の審査者となり、エントリーされた研究発表へ投票いただきます。ご留意下さい。

上記は昨年度の踏襲です。第32回大会の選考過程は以下のURLをご参照下さい。

第32回大会の選考過程：<https://jsre.jp/pdf/senkoukatei2024.pdf>

(3) 精励発表賞

「年次大会において第一著者として繰り返し研究を発表している会員に対して授賞する。」

【エントリー方法】

精励発表賞の選考対象となるには、2025年11月26（水）までに、必要書類を学会事務局（下記）に郵送にて提出する必要があります。詳細は大会ホームページにある以下のファイルをご参照ください。

- ・精励発表賞のお知らせ
- ・申請フォーム

【書類郵送先（お問い合わせ先）】

■日本感情心理学会事務局

〒113-0033

東京都文京区本郷5-23-13 田村ビル2F

公益社団法人日本心理学会内

JPASS事務局（日本感情心理学会気付）

メール：jsre@jpass.online

【表彰】

受賞者決定後本人に通知し、メールニュースと学会HPで公表するとともに、次年度の年次大会（第34回大会）の懇親会にご招待して表彰させていただく予定です（懇親会参加費は免除されます）。

4. 発表の取消について

何らかの事情により、参加・発表の取り消しを希望される方は出来るだけ早く第33回大会事務局（Email：jsreconf2025@gmail.com）にお知らせください。

なお、研究発表登録または予約参加申込の締切までに登録を完了され、事前参加費入金締切後に参加や発表を取り消される場合は、すでにご入金いただいた参加費等の返金については対応することができません。予めご了承のほどをお願いいたします。

発表プログラム

#印は日本感情心理学会非会員であることを示す

シンポジウム 1

感情研究をめぐる実社会とのクロスポイント

時間:10月25日(土) 14:00~15:30

場所:大会議室 202

司会 澤田 匡人(学習院女子大学)

話題提供者 向井 智哉(福山大学)
「法心理学研究の最前線と感情」
関谷 大輝(東京成徳大学)
「「管理される心」の、その先へ。
—AI化する感情資本主義社会における「感情労働」の課題—」
高野 慶輔(産業技術総合研究所) #
「日常生活における感情とメンタルヘルス」

指定討論者 中村 真(宇都宮大学)

概要

本シンポジウムでは、感情研究と実社会におけるヒトの営みとの交点を探ることを目的とする。感情は、学問領域を超えて私たちの実生活とも深く結びついている。これまで、感情研究と実社会との結びつきについては、感情研究の知見を産業に応用する観点で議論されることが多かった。一方、感情と実社会との結びつきは、これにとどまるものではなく、たとえば人権問題、労働問題、健康問題など、実社会において解決すべき様々な社会課題の根底に感情が深く関わっている。そこで、本シンポジウムでは、感情を中心としながら、法、労働、メンタルヘルスなど社会課題と密接に関わる研究を進めている先生方にご登壇いただき、社会課題の根底にある感情の働きについて多角的な視点から議論する機会としたい。本シンポジウムを通じて感情研究と実社会におけるヒトの営みとの交点を探ることで、実生活における感情の働きや私たち自身の社会生活のより深い理解へつながることを期待する。

シンポジウム 2

感情研究における諸領域とのクロスポイント

時間:10月26日(日) 13:00~14:30

場所:大会議室 202

司会 木村 健太 (法政大学)

話題提供者 真田 原行 (情報通信研究機構)

「個人間脳波同期からみる社会的情報の認知・感情への影響」

堀井 隆斗 (大阪大学) #

「構成論的アプローチによる感情理解

～計算モデルでつなぐ内受容感覚から社会的相互作用まで～」

植松 朗 (産業技術総合研究所) #

「恐怖記憶における新規予測誤差シグナルの役割」

指定討論者 大平 英樹 (名古屋大学)

概要

本シンポジウムでは、感情に関わる研究領域間の交点を探ることを目的とする。感情に関わる研究領域は、心理学にとどまらず、神経科学、情報学、工学、哲学、社会学など多岐にわたり、それぞれの領域で豊かな知見が積み重ねられてきた。一方、それぞれの研究領域で創出されてきた研究知見は、個々の研究領域内で蓄積及び理論化されることが多く、感情を理解するために研究領域間の知見の融合が十分になされてきたとは言い難い。このような背景から、現在求められていることは、さまざまな研究領域間の多様な視点を持ち寄り、学際的・越境的な対話を通じて、感情の本質や働きをより深く理解することであろう。そこで本シンポジウムでは、感情を対象としたヒトの認知神経科学研究から動物の神経科学研究、さらには感情を対象としたロボット工学など、心理学以外の多様な領域で感情を研究されている先生方にご登壇いただき、研究領域の交点に焦点を当てたシンポジウムを開催する。本シンポジウムを通じて、感情に関わる研究領域間の交点についてフロアを交えて議論をすることで、感情の本質の理解を深める機会としたい。

感情心理学会 ECR 会企画

感情心理学会 ECR 会は、感情心理学に関心のある大学院生や修了後 10 年以内のキャリア初期研究者（ECR）が交流・情報共有できる場として、2025 年度から活動を開始しました。

1. 次世代フロンティア・セッション

時間:10 月 25 日（土）16:30～17:30

場所:大会議室 202

5 名の ECR に約 10 分ずつ研究成果や展望を口頭で発表いただき、世代を超えた交流を促すきっかけとします。

【登壇者】

池田 慎之介（玉川大学）

伊崎 翼（畿央大学）

高野 了太（名古屋大学）#

安原 彰子（同志社大学、日本学術振興会 特別研究員 DC2）

林 萍萍（大阪商業大学）

2. ECR 交流セッション

時間:10 月 25 日（土）13:00～13:50

場所:小会議室 403

大会初日（10 月 25 日）のお昼にテーブルディスカッション形式で自己紹介や研究の議論をしつつ交流をしていただく会を企画します。

本大会へ参加登録した ECR の方は、誰でも交流セッションに参加可能です。

口頭発表 1 社会的相互作用

時間:10月25日(土) 11:15~12:45

場所:大会議室 202

座長 野崎 優樹 先生(甲南大学)

- OS1 代理的怒りは代理的感謝によって抑制されるか
——複数の集団間感情を連続喚起する試み——
蔵永 瞳(滋賀大学)
- OS2 軽蔑傾向が孤独感に及ぼす影響
——ソーシャルスキルによる調整効果の検討——
福田 哲也(流通科学大学人間社会学部)
- OS3 日常場面における社交不安の高まりと注意機能の関係
——経験サンプリング法による検討——
松本 美涼(広島大学大学院・日本学術振興会特別研究員)
神原 広平(同志社大学心理学部) #
尾形 明子(広島大学大学院) #
- OS4 他者の成功に伴う痛みの諸相
——グラクシュメルツと妬みの痛みの差異に関する探索的検討——
加藤 伸弥(神戸学院大学)
澤田 匡人(学習院女子大学)
- OS5 ネガティブ感情下における観察者の存在と摂食行動
長橋 宙夢(名古屋大学)
石井 秀宗(名古屋大学) #
- OS6 なぜ AI に感情の社会的共有を行うのか
——構造トピックモデルによる検討——
野崎 優樹(甲南大学)

口頭発表 2 言語と発達

時間:10月25日(土) 15:40~16:25

場所:大会議室 202

座長 池田 慎之介 先生(玉川大学)

- 0S7 「ヤバイ」で感情を語る時代
——ムードメーターを用いた感情語彙の可視化と教育的示唆——
久永 将太(神戸親和大学)
浅野 恵子(順天堂大学) #
- 0S8 「推し活」尺度作成の試み
——推し活と抑うつ感や幸福感との関連——
高橋 誠(神奈川大学)
- 0S9 幼児期から児童期における感情概念の構造の発達
池田 慎之介(玉川大学)

口頭発表 3 知覚と表現

時間:10月26日(日) 10:45~12:00

場所:大会議室 202

座長 藤村 友美 先生(同志社大学)

- OS10 車掌経験が安全確認時の視線探索方略に与える影響
菊地 史倫(公益財団法人鉄道総合技術研究所)
- OS11 高濃度酸素環境が及ぼすポジティブな心理的効果の作用機序
安井 圭子(パナソニック株式会社)
笹岡 貴史(広島大学) #
- OS12 潜在連合テストは姿勢と感情の結びつきを示す
——事後妥当性の検証——
高山 彩(福岡大学スポーツ科学部)
山口 幸生(福岡大学スポーツ科学部) #
- OS13 表情を説明する4つの語用論
難波 修史(広島大学)
- OS14 表情同調における顔の倒立効果
藤村 友美(同志社大学)
市川 寛子(東京理科大学)
森 数馬(量子科学技術研究開発機構)
中村 杏奈(東京女子大学) #

口頭発表 4 社会的関係

時間:10月26日(日) 14:45~16:15

場所:大会議室 202

座長 加藤 樹里 先生 (金沢工業大学)

- OS15 権威主義とシステム正当化傾向が地位のある人物への好意に与える影響
北村 英哉 (清泉大学)
- OS16 社会的アレルギーの研究
——対象人物への対処を中心に——
河野 和明 (東海学園大学心理学部)
羽成 隆司 (椙山女学園大学情報社会学部)
伊藤 君男 (東海学園大学心理学部)
高瀬 加容子 (東海学園大学教育学部) #
- OS17 恩人のために犠牲になる近い将来の第三者
——感謝による将来の第三者犠牲効果——
山本 晶友 (昭和女子大学人間社会学部)
- OS18 やりがい感を伴うアカデミックな活動における感情体験：大学生を対象とした調査
金澤 佑 (大阪大学)
- OS19 近年の大学生が登校を避ける理由とは
——自由記述による探索的検討——
稲垣 勉 (京都外国語大学)
- OS20 感動・価値の押しつけと心理的リアクタンスが映像への感動に及ぼす影響
加藤 樹里 (金沢工業大学)

ポスター発表 1

時間:10月25日(土) 10:00~11:00

場所:大会議室 201

※奇数番の発表者の責任在席時間は 10:00~10:30、偶数番の責任在席時間は 10:30~11:00 です

- PSI-1 成長報酬制御焦点尺度 (Growth-Reward Regulatory Focus Scale) の探索的因子分析
賀屋 育子 (こころとそだち研究会)
横嶋 敬行 (信州大学)
- PSI-2 不安感受性を測定する日本語版 ASI-3 の改定 その 2
——妥当性の検討——
福井 義一 (甲南大学)
中谷 智美 (名古屋産業大学) #
- PSI-3 スポーツチームにおける集団の誇り感情尺度開発の試み
——パイロットスタディ——
近藤 みどり (国立スポーツ科学センター)
- PSI-4 日本語版 Lifespan Self-Esteem 尺度の作成に関する基礎研究③
——尺度項目に関する低年齢の子ども理解度確認と妥当性の検証——
野口 太輔 (中村学園大学)
横嶋 敬行 (信州大学)
小野 拳 (帝京学園短期大学)
賀屋 育子 (こころとそだち研究会)
- PSI-5 アニメ視聴による心理的体験と影響の因子構造の探索的検討
藪田 拓哉 (甲子園大学)
佐々木 淳 (大阪大学) #
- PSI-6 共感性は過失を自己に帰属させるか？
——予測できない他者の苦痛における Intentional Binding と共感性の関連——
藤澤 壮太郎 (千葉大学)
大隅 尚広 (千葉大学)

- PSI-7 アレキシサイミアが情動障害に及ぼす二方向的影響
——共感性の関与に着目した検討——
細川 亜佐子（青山学院大学・日本学術振興会）
高野 了太（名古屋大学）#
- PSI-8 親密な関係における否定的行動の応酬の抑制因について
——視点取得に着目して——
劉 蔓儀（広島大学大学院）
相馬 敏彦（広島大学大学院）#
- PSI-9 アレキシサイミアにおける感情の言語化の特徴
——Levels of Emotional Awareness Scale による評価と内受容感覚の信念・抽象化能力の影響——
鈴木 菜穂（慶應義塾大学大学院社会学研究科）
梅田 聡（慶應義塾大学）#
寺澤 悠理（慶應義塾大学）#
- PSI-10 物語読書による共感回避の変化とその調整変数の検討
武内 俊樹（東京大学大学院）
鈴木 敦命（東京大学）
Emanuele Castano（フィレンツェ大学）#
- PSI-11 リスク行動へのバイオフィードバック効果に対する加齢の影響
——若年者と高齢者の比較——
伊崎 翼（畿央大学教育学部）
日道 俊之（高知工科大学）#
榊 美知子（University of Tübingen）#
- PSI-12 心拍の追跡が顔表情の識別に及ぼす影響
大隅 尚広（千葉大学）
岡田 天音（千葉大学）#
- PSI-13 他者の感情認識における内的モデルの更新過程と心拍変動の関与
平山 詠大（慶應義塾大学社会学研究科）
櫻木 麻衣（慶應義塾大学社会学研究科）#
寺澤 悠理（慶應義塾大学文学部）#

- PSI-14 心臓起因の内受容信号は報酬学習を調節するか？
——報酬確率の変動性の検討——
木村 健太（法政大学文学部心理学科）
- PSI-15 イメージカの鮮明さと情動粒度の細やかさとの関連
渡辺 実華（金沢工業大学）
加藤 樹里（金沢工業大学）
- PSI-16 ネガティブな感情の分化と状況の制御可能性が感情制御の柔軟性に及ぼす影響
岡村 百香（京都大学大学院）
高橋 雄介（京都大学）#
- PSI-17 信頼と年齢の正の関連に対する一般の人々の解釈
鈴木 敦命（東京大学）
- PSI-18 他者の信頼性判断と善悪判断は同じ認知プロセスか？
——視線計測による眼球運動からの検討——
川口 めぐみ（東京未来大学こども心理学部）
- PSI-19 人とロボットにおける涙の悲しみ増強効果の比較
安原 彰子（同志社大学大学院心理学研究科）
竹原 卓真（同志社大学心理学部）
- PSI-20 現代日本人の嫌悪対象集団の変化と情報源となるメディアの特徴
——2017, 2019, 2022 年調査との比較を交えて——
中村 真（宇都宮大学）
河野和明（東海学園大学）
- PSI-21 羨ましさは絵本の中でどのように描かれるか？
——妬み関連語の使用頻度と文脈の検討——
中井 彩香（NTT コミュニケーション科学基礎研究所）
藤田 早苗（NTT コミュニケーション科学基礎研究所）#
渡邊 直美（NTT コミュニケーション科学基礎研究所）
服部 正嗣（NTT コミュニケーション科学基礎研究所）
小林 哲生（NTT コミュニケーション科学基礎研究所）#
- PSI-22 欲求関連行動による幸福感に対する罪悪感、プライドの影響
古川 善也（福岡大学人文学部）

PSI-23 選挙における投票先候補の数と投票参加に対する後悔の関連

隅田 莉央 (東京大学大学院・日本学術振興会)

稲増 一憲 (東京大学) #

村本 由紀子 (東京大学) #

PSI-24 「うらみ」の生起状況を特徴づける個人差変数

小池 光 (京都大学)

岡野 裕仁 (京都大学) #

野村 理朗 (京都大学) #

PSI-25 単語を用いたかわいさ評定における視覚イメージと触覚イメージの影響

鄧 佳欣 (東京都立大学)

富樫 南心 (東京都立大学) #

井上 和哉 (東京都立大学)

PSI-26 受益者と利益供与者が有する感謝規範の検討

吉野 優香 (武蔵野大学)

蔵永 瞳 (滋賀大学)

ポスター発表 2

時間:10月26日(日) 9:30~10:30

場所:大会議室 201

※奇数番の発表者の責任在席時間は 9:30~10:00、偶数番の責任在席時間は 10:00~10:30 です

- PS2-1 心理的苦痛における相対的安定性の検討
——特性・状態・機会モデルを用いて——
中井（松尾） 和弥（神戸松蔭大学）
- PS2-2 本来性自己肯定感尺度作成の試み
横嶋 敬行（信州大学）
小野 拳 （帝京学園短期大学）
賀屋 育子（こころとそだち研究会）
野口 太輔（中村学園大学）
- PS2-3 表情の曖昧性認知における感情カテゴリ表象の抑制処理
濱野 揚茂（中央大学）
有賀 敦紀（中央大学）#
- PS2-4 感情語分類課題と幼少期逆境体験の関連
服部 正嗣（NTT コミュニケーション科学基礎研究所）
橋本 龍典（名古屋大学大学院）#
渡邊 直美（NTT コミュニケーション科学基礎研究所）
小林 哲生（NTT コミュニケーション科学基礎研究所）#
- PS2-5 名前による集団帰属判断が表情認知に与える影響
朱 泓宇 （関西学院大学）
小川 洋和（関西学院大学）#
- PS2-6 画像生成 AI による心理学研究用顔画像データベースの作成
——予備的検討——
井上 和哉 （東京都立大学）
狩野 伶奈 （東京都立大学）#
島田 こころ（東京都立大学）#

- PS2-7 顔色の紅潮による視線・表情の認知に及ぼす影響と個人差の検討
辻 幸樹（慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート）
石川 直樹（慶應義塾大学社会学研究科）
- PS2-8 自己報告された感情の自覚タイミングを評価するツールとしての Libet クロック
PERUSQUIA HERNANDEZ MONICA（奈良先端科学技術大学院大学）
CHENG MIAO（東北大学）#
渡辺 謙（人間環境大学）#
山岸 慎平（NTT コミュニケーション科学基礎研究所）#
柏野 牧夫（NTT コミュニケーション科学基礎研究所）#
谷部 好子（独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所）#
- PS2-9 認知的感情制御方略の潜在構造の探索
——経験サンプリング法を用いて——
陳 暁雪（立命館大学）
- PS2-10 人前で笑いをこらえるとより面白さを感じるのか
長谷 雛乃（金沢工業大学大学院工学研究科システム設計工学専攻）
渡邊 伸行（金沢工業大学）
- PS2-11 社会環境の流動性と対人的感情制御の関連
浦野 由平（山形大学）
- PS2-12 注意制御能力と気分状態が反すう思考に及ぼす影響
石川 遥至（兵庫教育大学）
- PS2-13 強迫症における感情調節方略の神経基盤：安静時 fMRI による検討
大平 育世（千葉大学子どもこころの発達教育研究センター）
和 俊冰（千葉大学子どもこころの発達教育研究センター）#
北川 等美（千葉大学子どもこころの発達教育研究センター）#
平野 好幸（千葉大学子どもこころの発達教育研究センター）#
- PS2-14 感情制御のデメリット
——再評価による不安の低減は準備行動を阻害するか？——
小林 亮太（福岡県立大学）
金元 琉風（福岡県立大学）#

PS2-15 大学生における運動有能感と肯定的再評価の関連

——スポーツ経験の有無に着目して——

濱崎 小雪（富山大学大学院人文社会芸術総合研究科）

榊原 良太（昭和女子大学生活機構研究科）

重松 潤（富山大学学術研究部人文科学系）

PS2-16 日米二言語対応の道徳領域制御焦点（Model of Ideal and Ought-based Moral Motives）尺度の開発

——因子構造ならびに測定不変性の確認——

小野 拳（帝京学園短期大学）

横嶋 敬行（信州大学教職支援センター）

PS2-17 日本人と中国人の対人葛藤方略の特徴

——Big Five パーソナリティおよび協調的幸福感との関連から——

林 語萱（流通科学大学人間社会学部）

福田 哲也（流通科学大学人間社会学部）

PS2-18 中国語版心理的負債感尺度の作成

——中国人大学生を対象とした質問紙調査を基に——

林 萍萍（大阪商業大学）

PS2-19 日本文化を反映した感情語とは？

白井 真理子（信州大学）

長峯 聖人（江戸川大学）

一言 英文（関西学院大学）

菅原 大地（筑波大学）

PS2-20 快と不快を超えて

——日本における典型的な混合感情の構成要素と差異——

菅原 大地（筑波大学）

長峯 聖人（江戸川大学）

白井 真理子（信州大学）

一言 英文（関西学院大学）

雨宮 怜（筑波大学）

井上 陽路（筑波大学）#

PS2-21 名残惜しさの特性語に関する探索的検討

長峯 聖人 (江戸川大学)

白井 真理子 (信州大学)

菅原 大地 (筑波大学)

PS2-22 自然をテーマとしたビデオゲームの心理的効果

——Flower と Tetris の比較による感情・覚醒・注意の検討——

本多 明生 (静岡理工科大学情報学部)

PS2-23 アイマスクの使用体験が心理生理状態に与える影響の検討

粕尾 優衣 (花王株式会社)

高橋 陽香 (花王株式会社) #

綾木 美城 (花王株式会社) #

PS2-24 企業におけるダイバーシティ研修効果の検証

湯山 祥 (早稲田大学文学学術院・株式会社クオレ・シー・キューブ調査
研究部門 人と場研究所)

向井 智哉 (福山大学人間文化学部・株式会社クオレ・シー・キューブ調査
研究部門 人と場研究所)

岡田 康子 (株式会社クオレ・シー・キューブ調査研究部門 人と場研究所)

PS2-25 同職種間ネガティブ認知 (Lateral Negativity: LN) の検討

——対人援助職において LN は発生しているのか——

児嶋 ひなた (東京成徳大学応用心理学部)

関谷 大輝 (東京成徳大学)

北大路書房

〒603-8303

京都市北区紫野十二坊町12-8

☎ 075-431-0361 FAX 075-431-9393

<https://www.kitaohji.com> (価格税込)

感情制御ハンドブック

ー基礎から応用そして実践へー 有光興記監修 飯田沙依亜, 榊原良太, 手塚洋介編著 A5上製・432頁・定価6160円 本邦で展開されてきた多彩な感情制御研究を一望できる書。基礎理論に始まり, 社会・人格・認知・発達・臨床・教育, さらには経済・司法・労働までの各分野における最新知見を8部31章21トピックで紹介。

不安とうつへのポジティブ感情トリートメント

セラピストガイド M. G. クラスク, H. J. ドウール, M. トレナー, A. E. ミューレ著 鈴木伸一, 伊藤正哉監訳 A5・216頁・定価4400円 ポジティブ感情トリートメントは不安やうつを抱える人が物事に取り組む意欲を回復して人生の楽しさや喜びを見出せるようになるアプローチ。基本原則, 行動科学・神経科学の基礎理論, 実践の要点などをセラピスト向けに手引き。

感情心理学ハンドブック

日本感情心理学会企画 内山伊知郎監修 A5上製・480頁・定価8800円 感情に纏わる様々な研究を渉猟し現時点の到達点を示す。個人内過程, 個人間の差異, さらに社会との関わり, という観点から内容を構成。自己, 身体, 脳, 認知, 発達, 進化, 文化, 人間関係, コミュニケーション等のテーマを扱う。

不安とうつへのポジティブ感情トリートメント

ワークブック A. E. ミューレほか著 鈴木伸一, 伊藤正哉監訳 B5・120頁・定価2970円 ポジティブ感情トリートメントは不安やうつを抱える人が物事に取り組む意欲を回復して楽しさや喜びを見出せるようになるアプローチ。ワークブックは, クライエントがポジティブな出来事や活動を思い描きつつ心地よさにつながる行動を学ぶ力を培うエクササイズを手引きする。

心理学って面白そう!
どんな仕事で活かされている?

シリーズ **心理学と仕事** (全20巻) **完結!**

シリーズ 監修 太田信夫

●A5判・148～232頁・定価2200～2530円

- | | | | | |
|-------------|------------|------------|-------------|----------------|
| 1 感覚・知覚心理学 | 2 神経・生理心理学 | 3 認知心理学 | 4 学習心理学 | 5 発達心理学 |
| 6 高齢者心理学 | 7 教育・学校心理学 | 8 臨床心理学 | 9 知能・性格心理学 | 10 社会心理学 |
| 11 産業・組織心理学 | 12 健康心理学 | 13 スポーツ心理学 | 14 福祉心理学 | 15 障害者心理学 |
| 16 司法・犯罪心理学 | 17 環境心理学 | 18 交通心理学 | 19 音響・音楽心理学 | 20 ICT・情報行動心理学 |

非観血式連続血圧計 【基礎医学研究用機器】

CNAP Monitor

指先のカフでの測定からリアルタイム連続血圧波形を表示

- リアルタイムの収縮期、拡張期、平均血圧および脈拍数
- 動脈内測定に相当する精度と連続性
- 最大2時間の内臓/バッテリー
- 非侵襲的測定法で被験者のリスク負担軽減に貢献
- アナログ出力及びUSBメモリにデータ保存してCSVファイル出力が可能
- サーマルプリンタ内臓
- 調整可能なアラームシステム



測定パラメータ

ATモデル : Sys / Dia / Mean / Pulse /

HDモデル : Sys / Dia / Mean / Pulse / SV / SVI / CO / CI / SVR / SVRI /

*オプション : PPV / SVV



デジタル多用途DCアンプ

Neuro-DCamp 【基礎医学研究用機器】

脳波、筋電図、心電図、眼球運動、胃電図、誘発電位等の信号計測を目的とする低ノイズDCデジタル生体信号増幅器

- chごとのフィルター設定により複数のパラメータの同時計測可能
- デジタルイベント入力8bit, TTLイベント入力1ch (24ch はTTL1chのみ)
- 外部アナログ信号4ch (52ch, 36ch のみ)
- EEGダイナミックレンジ±400mV
- USBでPCと接続(電源はUSBから供給)
- MATLABやOpenVIBE等での解析・処理により、BMI/BCI研究開発での利用に適用可能



【ラインナップ】 Neuro-DCamp52 (52ch)
Neuro-DCamp36 (36ch)
Neuro-DCamp24 (24ch)

測定パラメータ

EEG / EMG / ECG / EOG / EGG / GSR / RESP / Pulse など

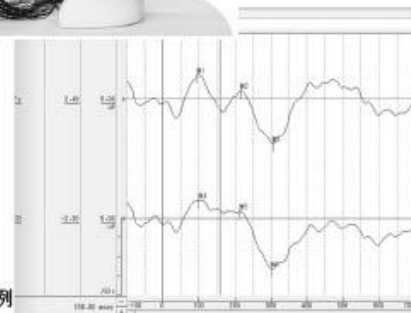
- 付属のソフトウェアは、脳波やイベントを様々なフォーマット (EDF+16 bit, BDF+ 24 bit, GDF 32 bit) で収録が可能です。また、ストリームLSL (Lab Streaming Layer) でオンライン転送が可能です。
- データの解析には 別途解析用ソフトウェアが必要になります。

Neuro-DCamp52



脳波電極キャップ使用例

P300解析波形例



EMC イーストメディック株式会社
East Medic Corporation

〒920-0062 石川県金沢市割出町702番2

TEL: 076-239-4761 FAX: 076-239-1771 URL: <http://www.east-medic.jp>

学術調査ならクロス・マーケティング

研究論文でのリサーチ実績、年間1000件超。
倫理審査もお手伝いいたします。

クロス・マーケティングの展示ブースへお立ち寄りいただいた方 限定

❖ ブースで来場特典 ❖

特典
1

無料配布

学術調査の基本とやり方がわかる
実践ガイド



特典
2

限定割引

学術調査 基本料金半額 もしくは
対象者リクルーティング **30% OFF**



特典
3

プレゼント

オリジナルノベルティ
※数に限りがございます。



※弊社ブースにて名刺交換をさせていただいたお客様限定となります。



詳細は 当日のクロス・マーケティング展示ブースまで

お問合せはこちらから 株式会社クロス・マーケティング

☎ 0120-198-022 ✉ academic@cross-m.co.jp

学術調査
特設サイトへは
こちらから



<https://www.cross-m.co.jp/industries/academic-conference>

日本感情心理学会第 33 回大会

賛助企業・団体ご芳名

【展示】

株式会社クロス・マーケティング

株式会社フィジオテック

ユニオンツール株式会社

【広告】

イーストメディック株式会社

株式会社北大路書房

株式会社クロス・マーケティング

【大会開催助成】

宇都宮観光コンベンション協会

本大会を開催するにあたり、上記企業・団体各位により多大なご支援を賜りました。
ここにそのご芳名を記して、心から感謝の意を表します。

2025 年 10 月

日本感情心理学会第 33 回大会
大会実行委員会 委員長
木村 健太

日本感情心理学会第33回大会

大会実行委員会

委員長	木村 健太	(法政大学)
副委員長	澤田 匡人	(学習院女子大学)
事務局長	白井 真理子	(信州大学)
委員	北村 英哉	(清泉大学)
	中村 真	(宇都宮大学)
	石川 隆行	(宇都宮大学)
	関谷 大輝	(東京成徳大学)

大会ロゴマーク

プログラム表紙デザイン 澤田 匡人 (学習院女子大学)

【連絡先】

〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1

法政大学文学部心理学科 木村研究室内

日本感情心理学会第33回大会事務局

E-mail : jsreconf2025@gmail.com

大会ホームページ : <https://www.k-gakkai.jp/jsre2025/index.html>

